

# 平成24年度高鍋町事務事業評価表

## ◎事務事業の概要

事務事業名	町民の日記念式典事業			基本目標	町民が参画できる体制づくり		
担当課(局)・係	総務課	行政係	記入者	増田 浩史	評価者	間 省二	開始年度 S41 年度

## ◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を)	高鍋町民						
	意図・目的	10月1日の町民の日に式典を挙行し、高鍋町民であることの誇りを再確認してもらう。						
事業の内容	町行政功労者への表彰、感謝状の授与 (H22は口蹄疫のため未実施)							
23年度決算額		千円	24年度予算額	167	千円	事業従事者数	H23 人 H24 0.05 人	
主な支出項目		千円	国庫支出金		千円	23年度人件費	0 千円	
		千円	県支出金		千円	24年度人件費	357 千円	
		千円	地方債		千円	24年度予算額における一般財源の割合(H24)	100.0 %	
		千円	一般財源	167	千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください		
		千円			千円	「町民の日」制定について、高鍋町表彰規程		
町の補助事業	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国県補助		補助事業名		-			
	補助交付団体		補助金要綱		-			
	23年度	補助額	-	千円	補助の形態	-	H24年度補助額	- 千円 終期 - 年度
		団体の決算額	-	千円	H23年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等			
		補助の割合	-	%				
繰越額		-	千円					

## ◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1 参加者数	より多くの町民に参加してもらい、町民の日の意義を認識してもらう。
	2	
	3	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1 被表彰者選考委員会	被表彰候補者のうちから、被表彰者を選考
	2	
	3	

## ◎達成状況

	指標名	単位	22年度	23年度	24年度
			目標値	未実施	800
成果指標	参加者数	実績値	未実施	500	
		達成率	%	62.5%	
		目標値			
		実績値			
		達成率	%		
		目標値			
活動指標	被表彰者選考委員会	目標値	未実施	1	1
		実績値	未実施	1	
		達成率	%	100.0%	
		目標値			
		実績値			
		達成率	%		

事務事業名	町民の日記念式典事業	担当課(局)	総務課
-------	------------	--------	-----

◎事務事業の評価

	担当者記入欄	評価する項目	点数
			自己評価
(必要性)	町が行うべき事業である。事業目的上は、その必要性は十分に高いと思われるが、式典の認知度がそれほど高くない現状においては、事業廃止による影響もそれほど生じないと思われる。	◎目的からして町が行うべきか	2
		◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2
		◎社会情勢(住民ニーズ)に適応しているか	0
		◎事業廃止による影響があるのか	1
有効性	町政功労者等への表彰が式典の中核を成している現状においては、事業目的に合致した成果が得られているか疑問が残る目に見える効果を得るためには、事業の抜本的な見直しが必要であると思われる。	◎目標に対して成果は得られているか	0
		◎すでに目的は達成されていないか	1
効率性	事業の実施に当たっては、常に効率性を重視しており、活動量の効果は上がっていると認識している。費用対効果については、効果があるのかどうかの見極めが困難な事業であるため、測定はできていない。	◎活動量の効果は実際に上がっているか	2
		◎費用対効果が十分に認められるか	1
協働性	「式典」の主体がどうあるべきかの捉え方にもよるが、式典の形態によっては協働による実施も可能であると思われる。	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	1
合計(最高18点)			10

※町補助をしている場合のみ記入

(公平性)	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること	
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	
	◎町民の理解が得られる事業であるか	
合計(最高4点)		0
その他		

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	毎年表彰を行っているので、表彰の意義が問われている。本年度は110年ということで、大々的に中央公民館で行ったが、通年は美術館で予算も抑えて開催しているが、今後2年に1度行うなど、町民の日の価値・意義を高めた方がよいのではないかと考える。	今後の方向性			
			事業の方向性	拡充	維持	縮小
			○			
			廃止	縮小	維持	拡充
			コスト			

◎事務事業評価委員の意見等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民の日として、全町民が分かるような式典にしていくことが必要。</li> <li>・2年に1度くらいに変更してはどうか。</li> <li>・事業の継続は必要と考えるが、事業規模や開催方法について検討が必要ではないか。</li> </ul>	◎今後の方向性	
	事務事業評価委員会	
	判定	維持
	外部評価委員会	
	判定	